

もくじ

1. スサノオノミコト	2
2. かさじぞう	32
3. まのいいりょうし	50
4. ゆきおんな	68
5. こぶとりじいさん	90
6. うりこひめとあまんじゃく	108

スサノオノミコト

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： イシイ アケミ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

「オロチさま。こよいは ごくじょうの さけを
ごよういしております。さきに そちらのほうを
めしあがってみては いかがでしょう」

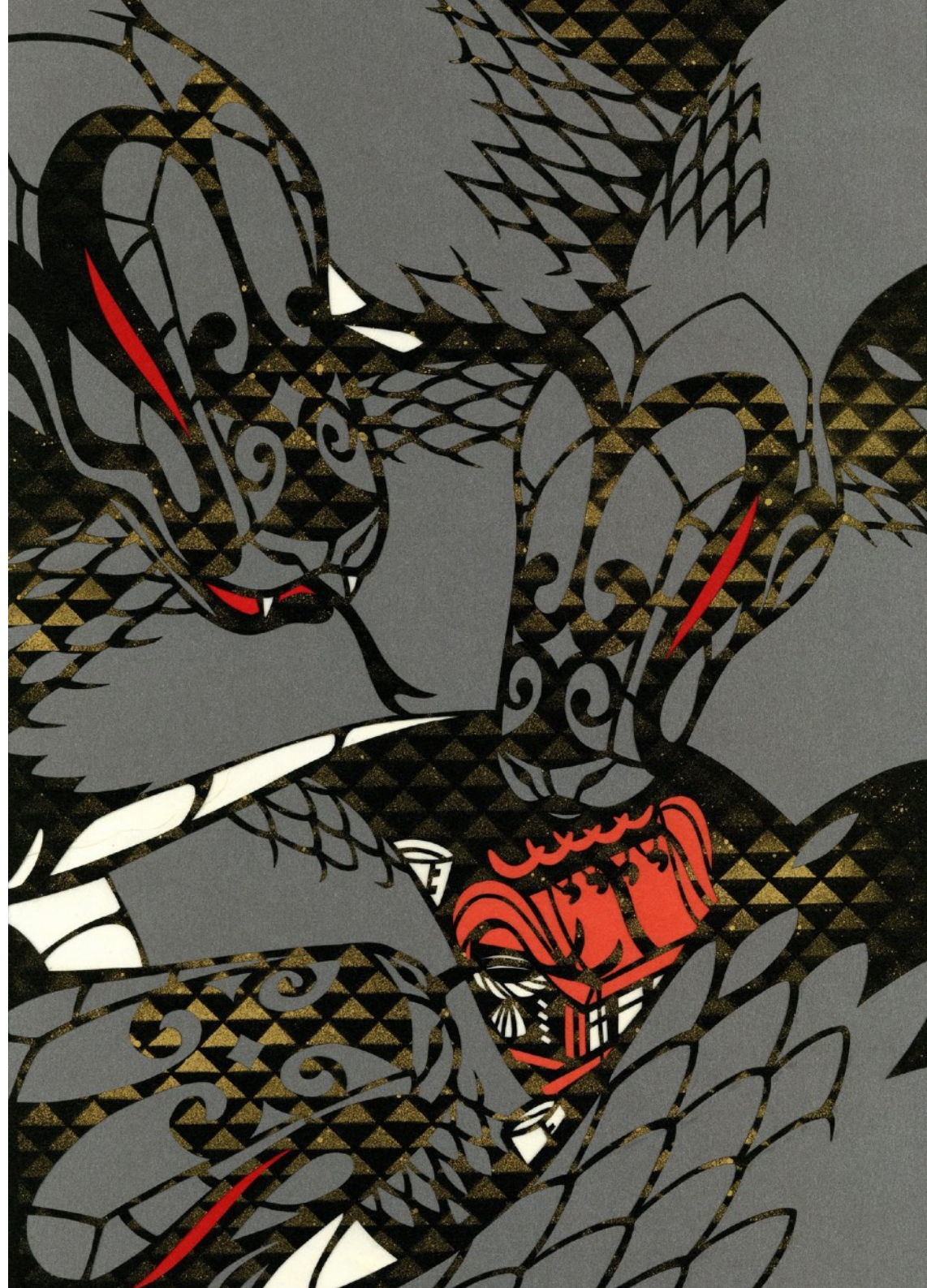
『ふむ・・・いいだろう。たのしみは さいごに
とっておくか』

オロチは、さかだるに くびをのぼし、
なかのさけを のみはじめました。

いちじかんご、オロチは すっかり
さけに よっていました。
さかだるを いくつか ひっくりかえしたらしく、
からだじゅう さけまみれで、やっつの あたまの
ほとんどは、いびきをかいて ねむっていました。

『ふう、こよいは ゆかいな よるじゃ。
・・・さてと、そろそろ おまえをくらって、
しまいとするか』

「わかりました。かくごは できております。
さあ どうぞ、わたくしを
めしあがってくださいませ」



おにたちは しらないおじいさんが とつぜん
でてきたので、それはおどろきましたが、
おじいさんの うたとおどりが
あまりにうまいので、
てをたたいて おおよろこび。

こうして おじいさんは、
おにたちといっしょに、
ひとばんじゅう おおさわぎをしてしまいました。

やがて、よがあげました。

「あ～さてと。そろそろ かえるぞ、おまえたち」

おにのおやぶんが そういうと、
ほかのおにたちは、
あわてて かえりじたくを はじめました。



むかし むかし、あるところに、
おじいさんと おばあさんが すんでいました。

あるひ、おばあさんが かわで
せんたくをしていると、
かわかみから おおきな『うり』が、
ぷっかぷっかと ながれてきました。

「おやまあ、なんてみごとな うりでしょう。
もってかえって、おじいさんと いっしょに
たべましょうかね」

おばあさんは、その おおきなうりを
いえに もってかえりました。

